



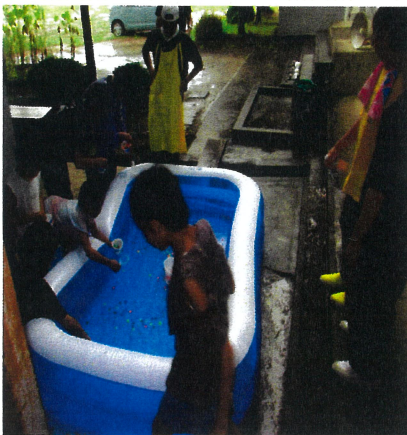
軽音楽 ライブ



白石高校生



お化け屋敷



スーパースボールすくい



まつり囃子と盆踊り



特賞・1等賞花火当たり



1等賞はもち豚商品券

← 河北新報記事と打上げ花火 ↓











中高生ら新風催し多彩

夏祭り盛況



地元は豊後だけでなく、高松生り、
徳島産で行われた競馬。競馬の参加が激化した

自石市川地区の裏側に、地区の中高校生が企画立案から運営まで携わった。昨年末に当日の手伝いをする程度だったが、今回は総勢30人が住民と一緒に盛り上げた。生徒たちは「地域活動に関わられて光栄」と笑顔を湛わせる。

地域活動参加「新鮮な気持ち」



悪役の登場で全滅されたスーパーボールすくい

ムセミが主体となり授業
お化け屋敷は、一〇〇人ほ
どが詰めかけ、常に行列が
できる好評ぶりだった。

セミ内の開放利用は10人
が旧日川中の理髪室などに
着目。五つの教室と廊下を
使い、一日半かけて準備し
た。2年小畑善孝さん「じ
は『習読使われてない開放
だから』と意図がある。開
くすだに理科室の鏡は所
通ぎて使えなかった」と語
す。

5月から会議を重ね、元住民との連絡調整を担った石井博樹さん(17)は「高校の先輩たちの働きのおかげで、地域の皆さんとつながりを持てるようになった」と感謝する。

自民小の卒業生で、仙台育英高一の平岡理紗さん(18)はボスター制作を担当。かつて公民館で行われていた鑑賞展を思い浮かべながらデザインを考えたという。「このような形で終りに関わることができ、新鮮な気持ちだった」と語った。

自愛興業会会長の小畑けい子さん(74)は「高校生が加わり、従来の足元が違った。地域外の人との接点が入ったことで、ひと味違った祭りになった」と振りを褒めた。

自小便の卒業生で、仙台育英高一年平岡理紗さん(18)はボクサー制作を担当。かつて公開場で行われていた鑑賞の思い呼かべながらデザインを考えたという。このような形で終りに関わることができ、新鮮な気持ちだった」と語った。